

第694号

発行所
〒036-8045
弘前市大字野田2丁目2の1
津軽保健生活協同組合
発行責任者 三浦良成
電話 0172-33-7515
ホームページ http://www.kensei-hp.jp
Eメール kenkou@r66.7-dj.com
印刷所 やまと印刷株式会社
◎組合員の購読料は出資金に含まれます

第694号
2020.7

協同で創る健やかライフ

健康

●日本国憲法より●
第13条 すべて国民は、個人として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする。
第25条 すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。



第95回総代会の様様



本日は総代会にご出席いただき、誠に有難うございます。
新型コロナウイルスが世界的に猛威をふるう中、今年度の総代会はこれまででない形式での開催にならざるを得なかったことをお詫び申し上げます。

2020年度

第95回通常総代会開催 6/20

コロナ禍で困難の中、一層のご支援を!

ごあいさつ

理事長 安田 肇

今後の新型コロナウイルス感染の広がりについて、誰も予想はできませんが、数年にわたる長期戦になる可能性があること、いずれ第2波がくる可能性が高いこと、それまでも、津軽地域に患者発生の可能性があらることなどが想定されます。
対策として、各事業所での感染予防対策の強化、外来での発熱患者のスムーズな受け入れ、入院患者が発生したときの体制整備を進めていきたいと考えています。
日本病院協会などによる全国

1049病院の4月の経営調査によれば、新型コロナウイルス患者を直接受け入れていない院所も含めて、外来患者数の減少、病床利用率の低下のため利益率が前年度1%の黒字からマイナス9%の赤字となり、結果として10%の悪化となっております。
わが法人の4月の経営状況も同様に、大変厳しいものでした。
全国的に感染予防対策として、外出の自粛、事業所の休業要請等が出され、また診療所や病院でも、院内での感染を心配して受診控えが起り、健康診断が中止されてきました。こうした動きは感染予防対策として重要ですが、長期的には、経済

総代会の流れ

津軽保健生協の第95回通常総代会が、6月20日弘前市「フォルトーナ」で開催されました。本総代会は新型コロナウイルス感染防止のため生協法、定款に則り、書面議決書提出総代を出席総代とみなし、実出席総代15名、代理出席1名で開催されました。

安田肇理事長のあいさつに続き、三浦良成専務から1、2号議案の2019年度の事業報告・決算報告、20年度の事業計画・予算の提案がありました(第2面参照)。続いて、総代からの発言を受け、三浦専務、安田理事長から回答がありました。

第3号議案、「役員報酬の承認に関する件」、第4号議案、「役員退職金の承認に関する件」、第5号議案、「役員選任に関する件」について提案されました。ここで審議は終了し、議場は閉鎖されました。

各議案の採決が行われ、すべての議案が賛成多数で承認されました。

第1回理事会の結果、理事長に安田肇、副理事長に伊藤真弘、三浦良成、専務に村上渡、常務に田中研が選出されました。

最後に、相馬裕副理事長、および山口久理事から退任のあいさつがありました。



リモート理事会を開催

総代会議案書を学習



四中ゆんで支部などでは組織部長の説明により「総代会の議案書」を学習しました。

的困窮者の増加、うつ病などの精神疾患の増加、生活習慣病の治療中断による脳卒中や心臓病の増加、がん検診受診率の低下による進行がんの増加などが懸念されます。なにか心配なことがございましたら、法人にいる医療、介護、生活相談の専門家をご活用いただければと思います。
私どもの強みは、組合員に依

拠した医療活動、保健予防活動を展開できることで、これまで何回も助けていただきました。
今は、班会をはじめとした生協の各種活動を十分に行うことができない苦しい時期にありますが、感染予防が第一ですが、組合員の皆様には、この場を借りて、改めて、一層のご支援をお願い申し上げます。

総代会スローガン

- 一、組合員・役員員の方で新型コロナウイルスの感染拡大を防ぎ、いのちを守る医療・介護事業の継続・発展に努めよう
- 一、日本国憲法の改憲を許さず、憲法九条を守っていこう
- 一、医療・介護・年金等の新たな改憲を阻止し、社会保障制度を充実させる運動を広めよう
- 一、「医療福祉生協連」IOI(イオン)「こもろ」に「こもろ」を守る活動を推進しよう
- 一、医師・看護師をはじめとした専門職の確保と育成を進め、事業をさらに発展させよう
- 一、組合員の拡大と班・支部への結集を推進し、生協組織を大きく、強くしよう

(本号は、総代会の決定内容をお伝えするため、5日ほど発行が遅れました)

2019年度 経営活動 まとめ

事業収益は105.5億円となり、予算を0.4億円下回りましたが、昨年実績を1.5億円上回りました。事業費用は107.2億円であり、予算を0.6億円上回りました。経常剰余金は△1.4億円となり、予算を0.8億円下回りました。上半期までの経常剰余金は予算を上回っていましたが、10月以降、健生病院の病床利用率が低下し、また2、3月はコロナウイルスの影響で外来患者数が減少したことから大幅に収益が減少しました。新築移転事業の投資で減価償却費が7.0億円となっており、剰余を出すことが困難な要因となっています。当期剰余金は△1.4億円となり予算を0.8億円下回りました。

2020年度 経営活動 方針

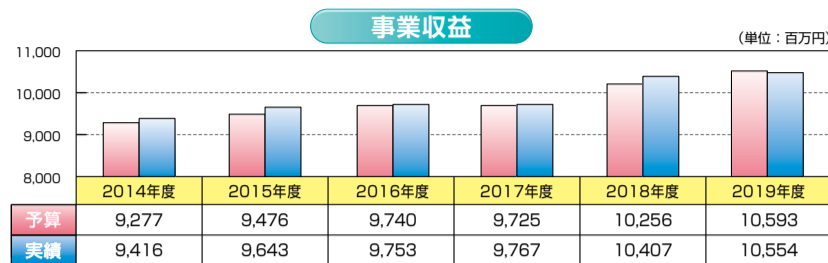
重要課題

- 1 新型コロナウイルスの感染拡大を防止し、医療・介護の事業活動の継続・発展を進めます。
- 2 憲法、平和、社会保障、命とくらしを守る運動を進めます。
- 3 健康づくりをとおしくらしとまちづくりを推進します。
- 4 「医療福祉生協の2030年ビジョン」の討議と学習を進めます。
- 5 医師確保・養成の成功および経営幹部の育成を進めます。
- 6 復興・被災地支援および原発反対運動を続けていきます。
- 7 生協の内部統制システムを構築していきます。

経営活動および予算方針

2020年度経営は診療報酬のマイナス改定があり、またコロナウイルスの影響で極めて厳しい状況になることを予想しています。感

新築移転事業の影響で繰越剰余金が△10.1億円であり、今期の剰余金が△1.4億円となったことで累積欠損は11.5億円となりました。全累積欠損の解消に向けて、毎年の経営を黒字へ転換しなければなりません。各事業所の経営改革を全力で推進していく必要があります。



染対策をしっかりと行い、医療活動の継続および予算達成を目指します。

- 1 健生病院、健生クリニックは「必要な医療をしっかりと届ける」ことを行い、経営目標達成を目指します。
- 2 藤代健生病院は経営目標達成を目指し、今後の建て替えの検討、および精神科医師養成を進めていく必要があります。
- 3 診療所経営では、コロナ感染対策をしっかりと行い、経営目標達成を目指します。
- 4 介護事業経営では、法人内外の事業所と連携し、「ナーシングホームたまち」の利用者数を早期に増加させ、また虹・ショートステイの稼働を高めていきます。
- 5 予算方針 津軽保健生協が必要とする資金は、償却前経常剰余金で6.6億円となります。予算は経常剰余金△0.4億円、償却前剰余金は7.1億円であり、全職員・組合員の総力をあげて達成できるよう努力します。経費削減に努め新規事業は1.3億円以内とします。また安定的な資金確保のため、金融機関からの融資についても準備を行っていきます。

2019年度 組合員活動 まとめ

日本医療生協の中心テーマ「協力の力で、いのち輝く社会をつくる」を実現させるために、津軽保健生協の優位点を生かしながら健康で明るいまちづくり活動に取り組みました。しかし、2020年1月以来のコロナ禍で、組合員活動が中止となり、仲間ふやしや増資に影響が出始めました。

四課題の取り組み

①仲間ふやし 8支部が目標達成しました。

年間目標	達成(達成比)	前年比
3,000人	1,703人(56%)	83.8%

②出資金ふやし 8支部、2事業所が目標達成しました。

年間目標	達成(達成比)	前年比
2億円	9,829万円(49.1%)	95.9%

減資および脱退	1億2,078万円(49.1%)
純減	2,249万円

出資金総額(19年度末)

15億7,517万円

③班づくり 達成支部

大成支部①、三大支部②、北支部①、岩木支部①、田舎館支部②、大鰐岬ヶ岡支部①、浪岡支部①、五所川原支部②

④担い手づくり

年間目標	達成(達成比)	前年比
302人	295人(97.7%)	215.3%

生協強化月間

強化月間は秋は10月～11月に行い、仲間ふやしは6支部、出資金ふやしは7支部と2事業所が目標を達成しました。また訪問行動では313件の訪問に対して194件の対話が行われました。秋以外は支部の事情に合わせて2ヵ月間行動してもらいました。

地域まるごと健康づくり

健康チャレンジは、1800人の目標に対して1972人の申し込みがありました。7月～8月のまちかど健康チェック、自治体との懇談、すこしお運動などに取り組みました。

2020年度 組合員活動 方針

誰もが健康で平和にくらせる社会の実現に向けて、明るいまちづくりを地域につくり広げましょう。しかし、組合員の命を守るためにも「安全宣言」が出るまでは活動の自粛をお願いします。

1 生協四課題の達成を追求しましょう

- ①仲間ふやし 3,000人(支部1,000人、事業所2,000人)
- ②出資、増資 2億円
- ③班づくり 74班(1支部2班)
- ④担い手づくり 370人(1支部10人)

生協強化月間、秋は全国の医療福祉生協での取り組みのため例年どおり実施予定です。

2 「つくろうチャレンジ」に取り組みましょう

- ①「つながりマップ」の作成と活用をします。
- ②「居場所(たまり場)」づくりに取り組みます。

3 地域まるごと健康づくりを広げましょう

- ①「健康チャレンジ」の普及拡大に取り組みます。
- ②「8つの生活習慣と2つの健康指標」を広めます。

4 支部活動の課題を解決し、活動を広めます

5 事業所利用・ボランティア活動を充実させていきます

6 長期住所不明組合員の訪問調査に引き続き取り組みます

表彰の部一覧

1. (1) 班会開催の部
③ 3年連続指標班として班会を開催した班の部

- 河西支部：色吉班 若葉班
- 下町支部：よつば班
- 三大支部：ことり班
- 文京支部：レインボー班
- 四中りんご支部：すずらん班
- 相馬支部：ぼたん班
- 黒石支部：コスモス班
- 大鰐ヶ関支部：あおぞら班
- 藤崎支部：ふじっこ班
- 中里支部：宮野沢班

② 5年連続指標班として班会を開催した班の部

- 北東支部：ななかまど班
- 大成支部：花みづき班
- 文京支部：もみじ班
- 五中支部：てっせん班
- どりーむ班

2. 生協活動に貢献した総代・支部役員・担い手で第一線から退いた組合員の部

- 時敏支部：工藤 攻(故人)
- 北東支部：加藤 セツ(故人)
- 河西支部：高谷 松男(故人)
- 渡辺千恵子(故人)
- 藤田銀一郎(故人)
- 下町支部：村田 和恵
- 大成支部：鎌田光義(故人)
- 四中りんご支部：佐藤都久子
- 五中支部：阿部 勝則(故人)
- 南支部：清藤 国光(故人)
- 南石川支部：相馬キヨ工
- 岩木支部：相馬 博子

南支部：いもの花班

- 南石川支部：ハイビスカス班
- 相馬支部：藤沢班
- 浪岡支部：ひまわり班
- 板柳支部：ローズマリー班
- 鯉ヶ沢支部：カトレア班
- すこやか会班

(2) 特別表彰の部

- ④ 四課題中、三課題を達成した支部の部
- 時敏支部
- 東中支部
- 田舎館支部
- 五所川原支部
- ② 新聞配布者を10名以上増やした支部の部
- 四中りんご支部

指標班とは

- ① 班長が選出されている
- ② 機関紙が配布されている
- ③ 年3回以上班会をひらいている
- ④ 全国四課題に取り組んでいる

- 尾上支部：佐藤 康文(故人)
- 板柳支部：成田 秀(故人)
- 五所川原支部：中川 克己
- 服部 秀子
- 杉山ヤチヨ

- 金木支部：中西 幸子
- 中里支部：澤田 一義(故人)
- 猪股 隆一

- 木造新田支部：大沢 悦子
- 鯉ヶ沢支部：澁谷 忠光
- 深浦岩崎支部：秋穂 一郎

(敬称略)

総代の発言と回答の要旨

第1号議案

浅利 直志 総代(常盤支部)

組合員活動再開に向けて、基本的なガイドラインを示してほしい。

② 7月1日から班会活動を再開します。支部活動についてはご指摘にもありました、活動再開のための「ガイドライン」の作成も検討し、徐々に再開していきます。組合員からの要望が高い、支部レクでのバス利用については、バス内の3密を避ける方法を検討し、理事会で討議の上、利用再開の方向性を探っていきます。

① 発言 浅利 直志 総代

入院・外来患者の激減の内容を説明してください。

② 回答 コロナの影響で健生病院入院患者数が大きく減少、従来90%を越えていた病床利用率が80%台に低下、外来患者数も減少しています。健生クリニック外来患者数は、予算比で1日あたり50人を超える減少となっています。3、5月累計では、経常利益が2億円のマイナスであり、極めて厳しい状況となっています。これは全国的な傾向であり、多くの医療法人で事業収益が約10%前後の減少、中には20%前後の減少となっている法人もあります。

健生病院ではコロナ疑い患者用のベッド約10床を空床にして確保、また手術、検査件数等を制限してきました。コロナ対応をすればするほど赤字になる構造であり、政府に経営的補償を求めていかなければなりません。

退任理事・監事紹介

今後は、徐々に制限を解除し、手術、検査件数を増加させ、地域との連携を強化し、外来および入院患者数を増加させていかなければなりません。

① 発言 浅利 直志 総代

医師である理事長から、コロナ対応をどのようにしていくのか、改めて伺いたい。

② 回答 感染症の専門の先生は、気温と湿度が上がってくると感染者が減ると言います。しかし、秋冬になって気温が25℃以下になり湿度も下がってくると、また3、4月の状況になるのではないかと非常に危惧します。

退任理事・監事紹介

敬称略



相馬 裕
健生病院副院長
7期14年
理事 4期8年
副理事長 3期6年



飯田 寿徳
健生クリニック所長
1期2年
副理事長 1期2年



加藤 あけみ
生協本部
看護介護部長
理事 4期8年



山口 久
木造新田支部
理事 11期22年



沢目 ミヤ
浪岡支部
監事 2期4年
理事 8期16年



須郷 光夫
黒石支部
理事 5期10年



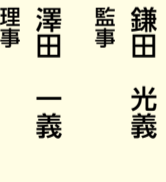
一戸 俊道
五所川原支部
理事 2期4年



野宮 憲治
監事 9期18年



山上 満
監事 8期16年



鎌田 光義
10期20年
(中途退任)
監事 澤田 一義
1期2年
(中途退任)

新任理事・監事紹介

敬称略



坂戸 慶一郎
健生黒石診療所
所長
理事



竹内 一仁
健生病院副院長
理事



寺島 由美
看護介護部長補佐
健生病院総看護長
理事



木立 俊昭
黒石支部
理事



羽賀 正之
浪岡支部
理事



長谷川 誠司
木造新田支部
理事



平山 亮一
五所川原支部
理事



後藤 昭蔵
監事



三浦 昭
監事
元津軽保健生協
専務

今後の班・支部活動について

7月から一部の活動を再開します

副理事長・三浦 良成

全国民の努力により5月25日、新型コロナウイルス緊急事態解除宣言が出され、青森県からも外出自粛やイベントの段階的緩和方針が示されています。この間、津軽保健生協の班・支部活動は、新型コロナウイルス感染防止のため、3月から中止していましたが、感染対策を徹底した上で7月から一部再開します。再開する活動は班会・運営会議・組合員訪問などで

調不良の時は参加を控える、④会場の換気をこまめに実施するなど感染対策を徹底します。

支部レク・班レクなど 自粛継続

再開にあたり、①3密(密閉、密集、密接)を避ける、②手洗い、手指消毒、マスク装着、③発熱や風邪症状がある場合など、体調不良の時は参加を控える、④会場の換気をこまめに実施するなど感染対策を徹底します。

困りごと、ご相談を

新型コロナウイルスは、緊急事態宣言解除以降も各地で依然猛威を振るっています。新しい生活様式を取り入れるなど、日常の感染対策をしっかりと行っていきましょう。

医療、介護、生活の困りごとなどがあれば、専門スタッフおよび組織部に相談をお寄せください。

【電話の相談】

- ① 生協本部組織部 (0172) 35-8933
- ② 健生サポートセンター (0172) 55-7726



看護師 准看護師 募集

病院見学または採用説明 随時対応!!

1回の見学・説明につき3名までとしますので 事前の電話予約をお願いします。

090-4556-3962(看護師:成田)

詳しくはホームページをご覧ください。



採用選考日

第3回選考日 8月15日 土曜
出願メ切 7月31日(金)必着

選考日の詳細については応募された方に郵送でお知らせいたします。



- 出願提出書類
- ①履歴書(写真貼付) 当法人指定のものあり (ホームページでダウンロードできます) ※既成の履歴書でもかまいません。
 - ②新卒の方は成績証明書と卒業見込み証明書 既卒の方は資格免許証の写し(コピーでかまいません)

出願先 〒036-8045 弘前市野田2丁目2-1
津軽保健生活協同組合 生協会館
看護介護部 看護職員採用係

5月定例理事会について

新型コロナウイルス感染防止のため5月理事会の実開催は行いませんでした。理事会議決事項は下記の通りですが、定款に則り、全理事からの「同意」によって承認された事をお知らせします。



- 【報告事項】
 - 5月度の主な経過報告と6月・7月・8月の主な行事予定
 - 4月度の月次仮決算報告
 - 4月度の組合員活動報告
 - 医療福祉生協連第10回通常総会代議員の選出について
 - 津軽保健生活協職員向け新型コロナウイルス感染症への対応文書
 - 第1回表彰選考委員会報告書
 - 役員報酬審議会会議報告
 - 決算に係わる監査所見
- 【審議事項】
 - 【議決事項】
 - 第95回通常総代会での組合員・班等の表彰の件
 - 2020年度役員報酬の提案
 - 第95回通常総代会議案書の承認
 - 2020年度夏季一時金支給について
 - 【協議事項】
 - 通常総代会の開催について

健康パズル

応募方法

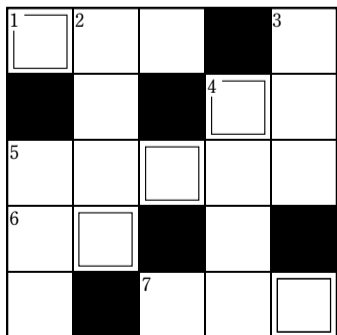
▼とき方カギに従ってマス目をつまみ、二重の枠の中に入った文字をうまくつなげるとひとつの言葉になります。
▼「興味を感じた記事」や、日頃の想い、身のまわりのことをご記入下さい。おたよりは一部紙面に掲載させていただきます。
▼(紙上ペンネーム可)
▼締切日7月25日必着。正解者の中から10人に図書カードをお贈りします。
▼送り先 〒036-8045 弘前市野田2丁目2-1
津軽保健生活協・健康パズル係
Eメール kenkou@f667.dj.com

《タテのカギ》

- 2学校のグラウンドは校庭、校舎の間にあるのは中庭、校舎裏にあるのは――
- 3最近医療モノや警察モノが多いですね
- 4砂浜を歩くと残り、波が打ち寄せると消えてしまう
- 5「おべっか」や「おべんちゃら」と同じ意味

《ヨコのカギ》

- 1 鎌(くわ)や鋤(すき)、鎌(かま)などは伝統的な――です
- 4 下ろした後の魚の骨や身のこと。津軽弁で言う「じゃっぱ」
- 5 桃太郎が猿・犬・雉を連れて向かった場所といえは
- 6 人の面倒をよく見る人のことを、――好きな人と言ったりします
- 7 六畳――の部屋で一人暮らし

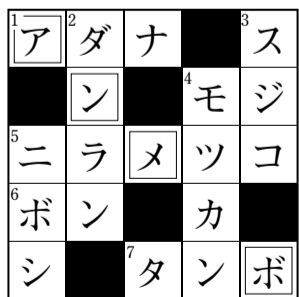


《ヒント》(5文字)
夜空を流れる

最近、住所・氏名の記載のない方も散見されます。ご注意ください。

第69号(6/1付) パズルの正解「アメンボ」

正解者多数のため、抽選で次の10名の方に図書カードを差し上げます。(敬称略)



- 弘前市 岡井 聖子
- 黒石市 田中由美子
- 平川市 藤田 純一
- 五所川原市 三ヶ田 哲
- 藤崎町 鈴木 彩子
- 唐牛 重任
- 岡田 隆
- 工藤みどり
- 神 礼子
- 伊藤亜紗子